

「収支会計 D1」の仕訳

1. はじめに	2
2. 通常の収入や支出の仕訳について	3
収入があった場合の仕訳	3
支出（経費）があった場合の仕訳	3
3. 未払金・未収入金の仕訳例	4
未払金の発生と解消	4
未収金の発生と解消	4
4. 前払金・前受金の仕訳例	5
前払金の発生と解消	5
前受金の発生と解消	5
預り金に係わる仕訳	6
5. 短期の貸付金や借入金の仕訳	7
短期貸付金の発生と解消	7
短期借入金の発生と解消	7
6. 固定資産に係わる仕訳	8
固定資産の取得	8
建設仮勘定を使う仕訳	8
固定資産の売却及び除却仕訳	9
7. 減価償却の仕訳	9
8. 長期借入金に係わる仕訳	10
9. 修正仕訳	11
固定資産の修正仕訳	11
固定負債の修正仕訳	11
通常の収入・支出科目修正仕訳	11

1. はじめに

収支会計は、貸借対照表と収支計算書で構成される財務2表型です。

企業会計と収支会計のおもな相違いは下記の通りです。

	収支会計	企業会計
おもな会計目的	収入・支出と資産や負債の把握	収益・費用と資産や負債の把握
基本の財務表	貸借対照表と収支計算書	貸借対照表と損益計算書
予算管理	必須	必要に応じて
仕訳の基本	基本的には複式簿記仕訳であるが、資産や負債の計上や除却などは繰り返し仕訳が必要	通常の複式簿記に基づく仕訳
減価償却	収支計算書には現れない	損益計算書に経費として計上される
繰越金	次年度に繰り越される支払資金額	次年度に繰り越される損益金額

収支会計の仕訳も基本的には複式簿記に基づく仕訳ですが、上記の相違に基づいて仕訳の具体例で説明します。

2. 通常の収入や支出の仕訳について

収入があった場合の仕訳

現金預金が増えるのでこのような仕訳になります。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
111020 現金	10,000	51010 一般組合費収入	10,000	
211030 預金1	50,000	54010 寄付金収入	50,000	

支出（経費）があった場合の仕訳

現金預金が減少するので、貸方に現金預金が入ります。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
172030 消耗品費	5,000	11020 現金	5,000	
272060 水道光熱費	30,000	11030 預金1	30,000	

補足)

- 複合仕訳もできます。
ただし、元帳では相手科目は諸口になります。
- 一枚の伝票に、1対1仕訳と複合仕訳が混在しても構いません。

3. 未払金・未収入金の仕訳例

未払金の発生と解消

- 未払金の発生

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1	172030 消耗品費	20,000	21020 未払金	20,000	
2					

- 未払金の解消

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1	121020 未払金	20,000	11020 現金	20,000	
2					

未収金の発生と解消

- 未収金の発生

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1	111220 未収金	1,000,000	52010 交付金収入	1,000,000	
2					

- 未収金の解消

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1	111030 預金1	1,000,000	11220 未収金	1,000,000	
2					

4. 前払金・前受金の仕訳例

前払金の発生と解消

- 発生

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
111260 前払金	500,000	11030 預金1	500,000	
2				

- 解消

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
172120 損害保険料	500,000	11260 前払金	500,000	
2				

前受金の発生と解消

- 発生

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
111030 預金1	300,000	21030 前受金	300,000	
2				

- 解消

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
121030 前受金	300,000	51040 加入金収入	300,000	
2				

預り金に係わる仕訳

• 発生

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
171010 役員給与	1,000,000			
271050 法定福利費	200,000			
3		11030 預金1	850,000	
4		21050 所得税	150,000	預り金
5		21070 社会保険	200,000	預り金

• 解消

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
121050 所得税	150,000	11030 預金1	150,000	
221070 社会保険	200,000	11040 預金2	200,000	

立替金、仮払金、仮受金なども同様な仕訳を行ってください。

5. 短期の貸付金や借入金の仕訳

短期貸付金の発生と解消

- 発生

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
111240 短期貸付金	500,000	11030 預金1	500,000	
2				

- 解消

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
111040 預金2	500,000	11240 短期貸付金	500,000	
2				

短期借入金の発生と解消

- 発生

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
111030 預金1	600,000	21110 短期借入金	600,000	
2				

- 解消

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
121110 短期借入金	600,000	11030 預金1	600,000	
2				

注意)

➤ 短期の貸付金や借入金は収支計算書には表示されません。

6. 固定資産に係わる仕訳

固定資産の取得

➤固定資産を取得する仕訳例

収支計算書には取得支出として計上されます。(収支仕訳)

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1 80010 固定資産取得支出	1,500,000	11030 預金1	1,500,000	車両購入
2 12140 車両・運搬具	1,500,000	31020 固定資産等見返勘定	1,500,000	

補足)

1の仕訳で収支計算書に計上され、2の仕訳(切替し仕訳)で貸借対照表に計上されます。

建設仮勘定を使う仕訳

支出時の仕訳

収支計算書に反映します。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1 80010 固定資産取得支出	5,000,000	11020 現金	5,000,000
2 12160 建設仮勘定	5,000,000	31020 固定資産等見返勘定	5,000,000

建物への振替仕訳

この場合、収支計算書は動きません。(複式簿記仕訳・収支仕訳共通)

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1 12310 建物	5,000,000	12360 建物仮勘定	5,000,000

固定資産の売却及び除却仕訳

▶固定資産を除却した場合（簿価 300,000 の什器備品を廃棄した場合の例）

収支計算書は変化しません。

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1 31020 固定資産等見返勘定	300,000	12150 什器備品	300,000

▶売却して損金が出た場合

（簿価 500,000 の什器備品を 300,000 円で売却した場合の例）

収支計算書には固定資産売却収入 30 万円が計上されます。（収支仕訳）

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1 11020 現金	300,000	58010 固定資産売却収入	300,000
2 31020 固定資産等見返勘定	500,000	12150 什器備品	500,000

▶益金が出た場合

（簿価 500,000 の什器備品を 700,000 円で売却した場合の例）

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分	摘要名1 摘要名2
1 11030 預金1	700,000	58010 固定資産売却収入	700,000	
2 31020 固定資産等見返勘定	500,000	12150 什器備品	500,000	

7. 減価償却の仕訳

減価償却は非資金科目であるので通常減価償却は行いません。しかし、固定資産と“固定資産見返勘定”を次の仕訳を行うことにより、貸借対照表の中だけで減価償却を行うことは可能です。

▶減価償却の仕訳

借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1 31020 固定資産等見返勘定	500,000	12120 建物	500,000

8. 長期借入金に係わる仕訳

長期借入金の発生

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分		貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1	11020 現金	3,000,000	58010	長期借入金収入	3,000,000
2	31020 固定資産等見返勘定	3,000,000	22010	長期借入金	3,000,000

長期借入金の返済仕訳

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分		貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1	83010 長期借入金返済支出	500,000	11020	現金	500,000
2	22010 長期借入金	500,000	31020	固定資産等見返勘定	500,000

9. 修正仕訳

固定資産の修正仕訳

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分		貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1	80010 固定資産取得支出	-100,000	11020	現金	-100,000
2	12150 什器備品	-100,000	31020	固定資産等見返勘定	-100,000

固定負債の修正仕訳

次の例は、長期借入金の修正仕訳の例です。

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分		貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1	22010 長期借入金	-50,000	11020	現金	-50,000
2	22010 長期借入金	-50,000	31020	固定資産等見返勘定	-50,000

通常の収入・支出科目修正仕訳

通常の収入科目、支出科目の修正仕訳では逆仕訳でも構いませんが、修正仕訳はマイナス金額を行うことを約束しておくこと、すべての修正仕訳はマイナス金額で行うことになるので、元帳を出力したときに修正仕訳であることが明確に判別できます。

	借方科目コード 補助科目コード	借方金額 消費税区分		貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
1	72030 消耗品費	-500	11020	現金	-500

勘定科目コード早見表

以下の二桁の数字を打ってエンターキーを押すとその科目の先頭に飛びます。間違えた場合は、その場でもう一度新しい数字を打ってエンターキーを押してください。

11:流動資産

12:固定資産

21:流動負債

22:固定負債

31:純資産

50～:収入科目

70～:支出科目